

V. 地域別都市整備方針

1. 峰山地域

(1) 峰山地域の特徴

- 平成22年の国勢調査時の人口は、12,699人と、過去5年間で559人減少(-4.2%)しています。
- 市内でも工業生産が盛んで、赤坂工業団地などにおける機械製品製造業や、絹織物産業（丹後ちりめん）などが中心的な産業となっていますが、近年、繊維産業は縮小傾向にあります。
- 峰山の既存市街地は、市役所などの行政サービスのほか、事業所や商店街などの商業店舗が多く立地しており、これまでから中心市街地としての役割を果たしています。近年は、国道312号沿いの大型店舗を核としたロードサイド型店舗の立地が進んでいます。
- 古くからの小西川沿いの市街地に加え、峰山駅との間の農地や周辺の丘陵部付近まで宅地化が進んでおり、近年では、国道312号付近での宅地化も進んでいます。
- 主要地方道網野峰山線沿いには古くからの商業地が形成され、御旅市場や金刀比羅神社門前町、また、丹後震災記念館周辺などの歴史的な建物やまちなみが残されていますが、近年は、物販などの商業機能の空洞化が進行しています。
- 峰山地域の市街地には、小西川が流れるほか、市内を南北にまたぐ竹野川が近くに流れるなど、うるおいのある市街地を形成しています。また、市民の健康スポーツの拠点である峰山総合公園が近接し、周辺には同様の機能を持つ峰山途中ヶ丘公園も立地しています。

(2) 峰山地域の都市整備方針

- 国道312号と国道482号沿いにおける商業集積地において、新たな交通結節点についての検討、商業系用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、新都市拠点としてふさわしい都市機能の誘導と都市環境の整備を推進します。
- 都市拠点への玄関口機能を有する山陰近畿自動車道の整備促進及び（仮称）大宮峰山ICアクセス道路の整備を推進し、商業系用途地域での商業・交流機能の発展を図ります。
- 峰山駅から市街地までを業務地として位置付け、行政機能の集約化を図り、地域振興機能の充実や、行政サービスの効率化と利便性の向上を推進します。また、市民の憩いやスポーツ活動、また、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。
- 市街地内の浸水防除の観点から、河川や水路の改修・整備を推進します。

- ・景観法などを活用した景観誘導の取り組みを促進するとともに、京丹後らしい特色を活かした良好な都市景観の形成を推進します。また、金刀比羅神社周辺などの旧来のまちなみを活かしたまちづくりと、歴史資源の保全・活用による景観形成を図ります。
- ・地域拠点と丹後町方面への交通移動性を向上させる、（仮称）峰山弥栄 IC アクセス道路の整備を推進し、地域の商業・交流活動の活性化を図ります。

（3）主な取り組み

都市拠点

- ①山陰近畿自動車道の整備促進及び大宮峰山 IC アクセス道路の整備推進
- ②商業・交流活動の軸となる国道 312 号沿道などの都市景観形成
- ③商業集積地での新たな交通結節点についての検討
- ④文化施設やにぎわい広場の整備など商業地域における都市施設の整備と誘導

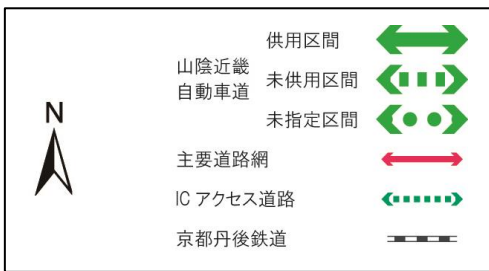
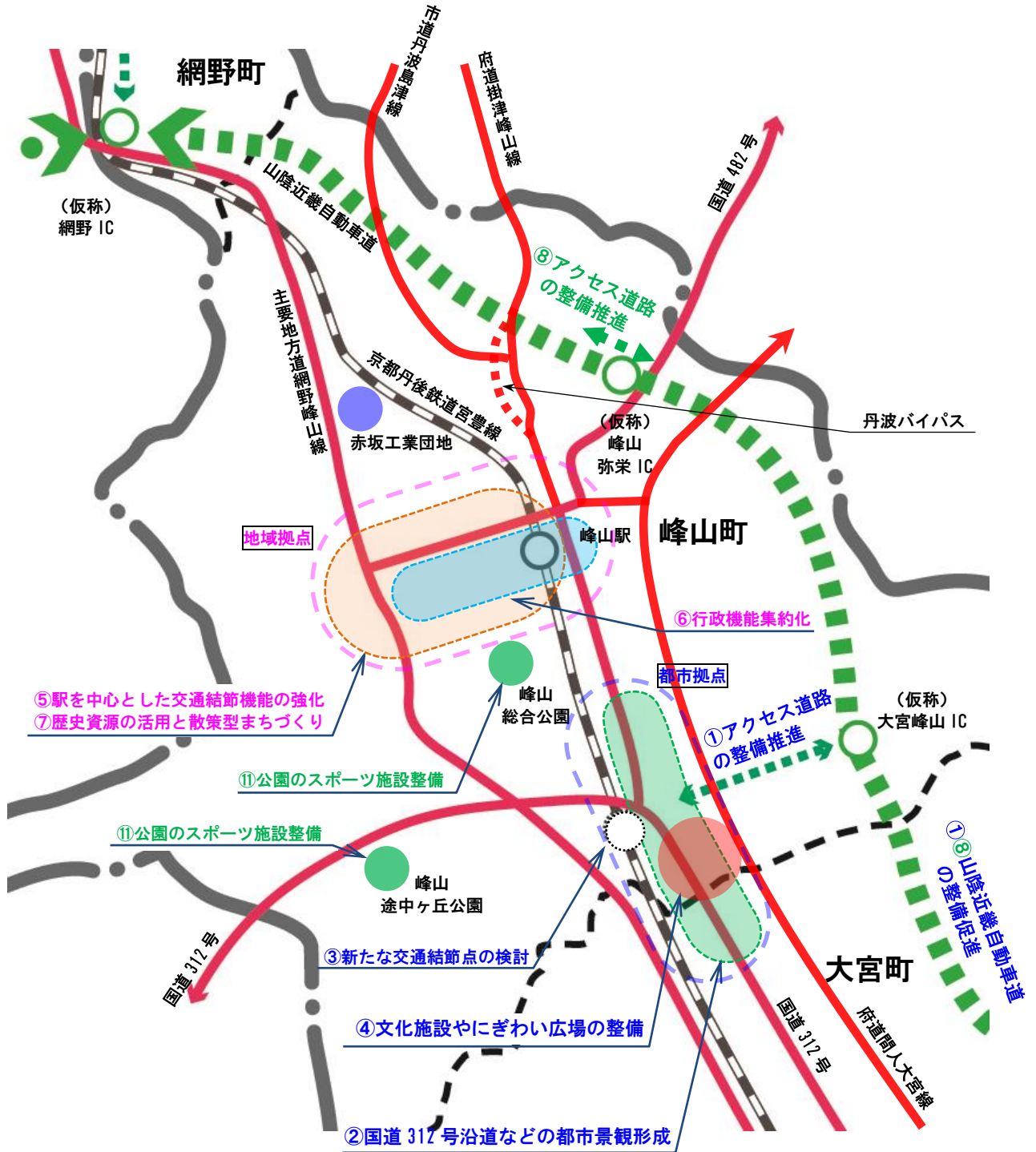
地域拠点

- ⑤峰山駅を中心とした交通結節機能の強化とまちなか観光との連携
- ⑥地域の暮らしを支える行政機能集約化への取り組み
- ⑦金刀比羅神社から御旅市場周辺における歴史資源の活用や、景観形成による散策型のまちづくりの展開

峰山地域全体

- ⑧山陰近畿自動車道の整備促進及び（仮称）峰山弥栄 IC アクセス道路の整備推進
- ⑨都市計画区域内の交通流の円滑化につながる主要道路の整備推進
- ⑩地域活力や産業機能の向上につながる用途地域の指定
- ⑪峰山総合公園や峰山途中ヶ丘公園を核とした、観光の活性化につながるスポーツ施設の整備
- ⑫河川の治水対策など都市防災機能の強化や、生活の基盤となる都市計画道路の見直し

《地域別の都市整備方針 峰山地域》



- 峰山地域全体**
- ⑨ 主要道路の整備推進
 - ⑩ 用途地域の指定
 - ⑫ 都市防災機能の強化と都市計画道路の見直し

2. 網野地域

(1) 網野地域の特徴

- 平成22年の国勢調査時の人口は14,233人と市内で最も人口が多い地域ですが、過去5年間で1,128人減少(-7.3%)しています。
- 網野地域は、絹織物産業(丹後ちりめん)の主要な産地ですが、近年、縮小傾向でまちなかの機業地の空洞化が進んでいます。
- 市街地内には、小売店舗を中心とした商店街が形成されており、近年、峰山地域と大宮地域のロードサイド型店舗の増加などにより空洞化傾向にあります。
- 府下有数の観光温泉地(浜詰・夕日ヶ浦、木津)であり、旅館、ホテル、民宿などが集積立地し、冬場のカニシーズンや夏場の海水浴シーズンには、多くの観光客が訪れています。
- 現在、福田川の河川改修が進められており、浸水被害の解消に向けた整備が行われています。
- 網野地域の市街地は、八丁浜で日本海に接し、琴引浜が近接するほか、離湖や福田川が市街地に隣接するなど、沿岸のうるおいのあるまちを形成しています。
- 公園としての整備が予定されている網野銚子山古墳や、ちりめん機業のまちなみなどが、歴史文化のまちのイメージを形成しています。平成19年度には、八丁浜シーサイドパークが供用開始され、海洋レクリエーションや健康スポーツの拠点としての活用が期待されています。

(2) 網野地域の都市整備方針

- 既成市街地において、用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、網野駅を中心とした地域振興機能の充実や都市環境の整備を図るほか、駅と観光拠点を結ぶ公共交通体系の強化による滞在型観光の定着を促進します。また、商業系用途地域となる市街地周辺での商業・観光機能を向上させるため、広域交通網となる山陰近畿自動車道の事業促進及びICアクセス道路の整備を推進します。
- 市民の憩いやスポーツ活動、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。
- 市街地内の浸水防除の観点から、河川や水路の改修、ポンプ場・雨水貯留施設の整備を推進するほか、住民などによる雨水貯留施設の設置を促進します。
- 景観法などを活用した景観誘導の取り組みを促進するとともに、京丹後らしい特色を活かした良好な都市景観の形成を推進します。また、嶋児神社周辺などの旧来のまちなみを活かしたまちづくりと、歴史資源の保全・活用による景観形成を図ります。
- 地域拠点への交通移動性を向上させる網野インター線の整備を推進し、地域の商業・交流活動の活性化を図ります。

(3) 主な取り組み

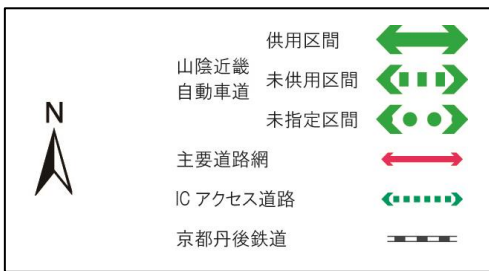
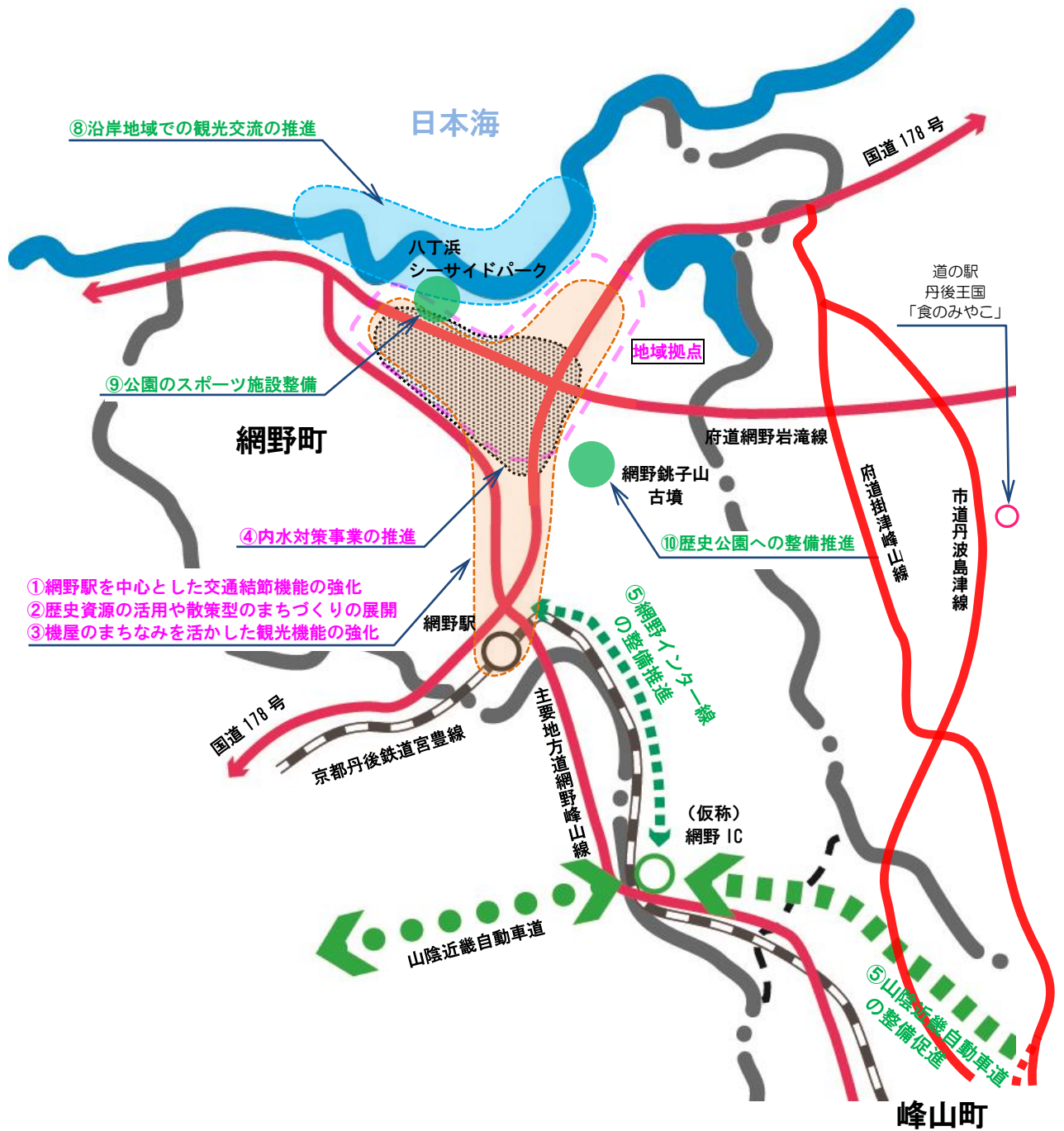
地域拠点

- ① 網野駅を中心とした交通結節機能の強化とまちなか観光との連携
- ② 嶋児神社周辺における歴史資源の活用や、景観形成による散策型のまちづくりの展開
- ③ 丹後ちりめんの里として、機屋のまちなみを活かした観光機能の強化
- ④ 内水被害多発地域における水路の改修やポンプ場、雨水貯留施設の整備推進

網野地域全体

- ⑤ 山陰近畿自動車道の整備促進及び網野インター線の整備推進
- ⑥ 都市計画区域内の交通流の円滑化につながる主要道路の整備推進
- ⑦ 地域活力の向上につながる用途地域の指定
- ⑧ 八丁浜や沿岸地域での自然を活かした観光交流によるまちづくりの展開
- ⑨ 八丁浜シーサイドパークを核とした、観光の活性化につながるスポーツ施設の整備
- ⑩ 網野銚子山古墳を活かした歴史的なまちづくりの展開
- ⑪ 河川の治水対策など都市防災機能の強化や、生活の基盤となる都市計画道路見直し

《地域別の都市整備方針 網野地域》



- 網野地域全体**
- ⑥主要道路の整備推進
 - ⑦用途地域の指定
 - ⑪都市防災機能の強化と都市計画道路の見直し

3. 大宮地域

(1) 大宮地域の特徴

- 平成22年の国勢調査時の人口は10,368人と、過去5年間で389人減少(-3.6%)しています。
- ほ場整備がなされた後に農業振興地域農用地が指定解除された善王寺や周枳地区では、小規模な戸建住宅開発が進行し、人口が増加している状況にあります。
- 大宮地域は、農業を中心とする地域で、水田耕作のほか平野部の丘陵地帯には、国営開発農地(畑作)が整備されています。また、絹織物産業のほか、清水工業団地などには、機械製品製造業が立地しています。
- 大宮地域は、竹野川沿いに集落や農地が形成され、京丹後大宮駅前の市道周辺(口大野)には商業地として市街地が形成されていましたが、国道312号の整備に伴いロードサイド型店舗の集積が進み、駅周辺にある旧商店街の商業機能は、近年縮小や空洞化が進んでいます。
- 大宮地域の中央部に、まちの骨格を形成する竹野川が流れ、河川沿いの遊歩道などうるおいのある市街地を形成しています。この竹野川の上流部には、内山ブナ林など自然度の高い環境が残されています。
- 大宮賣神社などの歴史資源が点在するほか、大宮自然運動公園などの地域性を活かした公園の整備が行われています。

(2) 大宮地域の都市整備方針

- 既成市街地において、用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、京丹後大宮駅を中心とした地域振興機能の充実や都市環境の整備の推進、また、市の南の玄関口としての情報発信拠点を整備します。
- 広域交通網の玄関口となる山陰近畿自動車道京丹後大宮ICが開通予定であることから、ICアクセス道路を活かした取り組みを推進し、工業系用途地域とする森本工業団地での産業機能の維持強化と企業誘致、また、商業系用途地域とする京丹後大宮駅周辺での商業・観光機能の向上に努めます。
- 市民の憩いやスポーツ活動、また、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。
- 景観法などを活用した景観誘導の取り組みを促進するとともに、京丹後らしい特色を活かした良好な都市景観の形成を推進します。また、駅周辺の旧来のまちなみを活かしたまちづくりと、歴史資源の保全・活用による景観形成を図ります。

(3) 主な取り組み

都市拠点

- ①商業・交流活動の軸となる国道312号沿道などの都市景観形成
- ②市の南の玄関口となる国道312号の観光・休憩所の整備

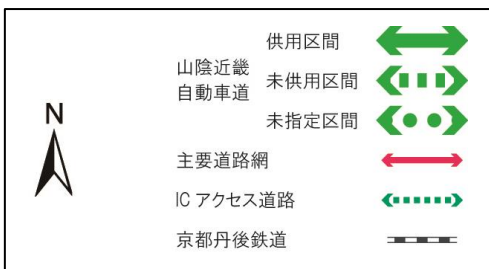
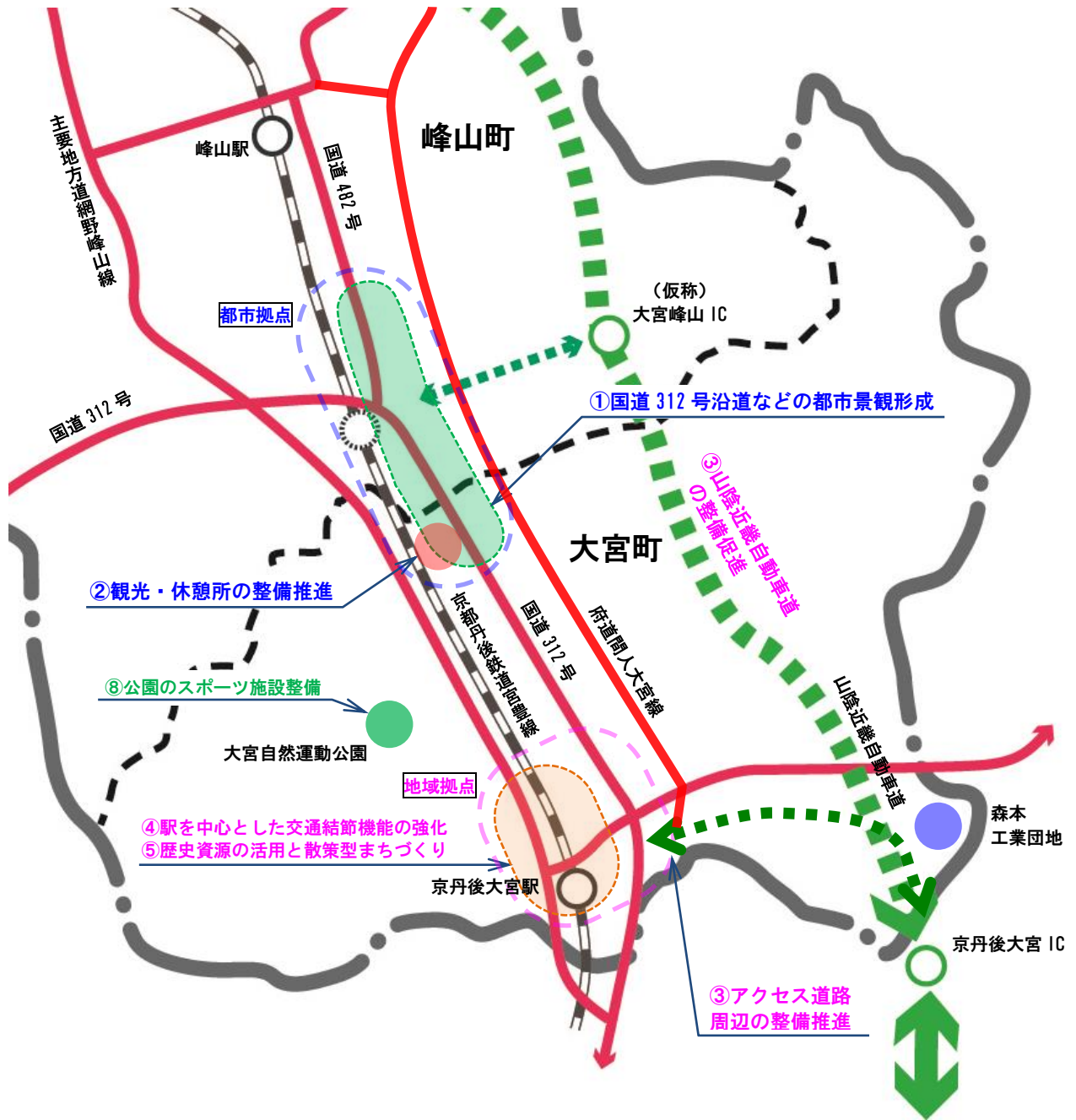
地域拠点

- ③山陰近畿自動車道の整備促進と、京丹後大宮ICアクセス道路の周辺整備
- ④京丹後大宮駅を中心とした交通結節機能の強化とまちなか観光との連携
- ⑤京丹後大宮駅から口大野地区周辺における旧来のまちなみ活用や、景観形成による散策型のまちづくりの展開

大宮地域全体

- ⑥都市計画区域内の交通流の円滑化につながる主要道路の整備促進
- ⑦地域活力や産業機能の向上につながる用途地域の指定
- ⑧大宮自然運動公園を核とした、観光の活性化につながるスポーツ施設の整備
- ⑨大宮町における公営住宅の集約化や子育て支援住宅の整備
- ⑩河川の治水対策など都市防災機能の強化や、生活の基盤となる都市計画道路の検討

《地域別の都市整備方針 大宮地域》



大宮地域全体

- ⑥ 主要道路の整備推進
- ⑦ 用途地域の指定
- ⑨ 公営住宅の建替えと集約化の推進
- ⑩ 都市防災機能の強化と都市計画道路の検討